

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		3-	2
事業名	電算経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	3
施策	6	語らいのあるまち	課名	財政課	
	6-2	人と人が交流するまちをつくる	係名		
	6-2-1	情報化の推進			
主要施策	①情報通信基盤の整備		②電子自治体の構築		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	効率的な行政事務を図るためには、事務の電算化を推進することが必要であり、急速に進歩する情報化に対応し、情報の一元管理を進めることにより、運用管理の負担やコストの軽減、セキュリティ対策の強化を図る。
事業内容	電算管理事務・・・住民情報システム、庁内事務処理に係る内部情報システムの運用管理を行うとともに、各種システムを稼働させるための庁内LANを運用し、システム・データの共有、セキュリティ対策等を実施する。また、社会保障・税番号制度への対応においては、必要となるシステムの改修に順次取り組む。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			99,442		111,083		116,763	
財源内訳	直接事業費 A		93,502		103,559		105,873	
	うち一般財源		91,206		103,559		103,482	
人件費(千円) B			5,940		7,524		10,890	
内訳	一般職員(人・千円)		0.90	5,940	1.14	7,524	1.65	10,890
	臨時職員(人・千円)			0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	C 削減の余地が大きい
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	事務の電算化を進める上で、情報セキュリティの強じん化を一層進める必要があり、財政負担が大きくなっている。
②H30年度に実施した取り組み	セキュリティの強化(強じん化)を図るため、職員端末を外部ネットワークから切離すとともに、情報セキュリティ研修を実施した。また、特定個人情報を取扱う課への監査を実施し、必要な是正も行った。	④今後の改善計画	事務の電算化を推進して、事務の効率化を進めるとともに、財政負担の抑制を図っていく。